

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	かさい じゅん	
氏名	葛西 純	
所属・役職	AI DataBank 株式会社 顧問 株式会社フォルテ代表取締役 青森県情報化アドバイザー	
活動拠点	東北地方（青森県）を中心に活動中。 特に最近は、東北・北海道の広域エリアで、地域情報化に携わってきた。	
略歴	1983 年 4 月 東日本電信電話公社 入社 2011 年 3 月 有限会社 forte 取締役社長 就任 2012 年 6 月 総務省地域情報化アドバイザー・ICT 地域マネージャー委嘱 2014 年 4 月 青森市地域温暖化対策地域協議会 委員委嘱 2014 年 4 月 弘前市弘前型スマートシティ懇談会 委員委嘱 2016 年 1 月 株式会社フォルテ代表取締役社長 就任 2016 年 3 月 国立大学法人弘前大学 非常勤講師 委嘱 2016 年 6 月 とうほく自動車産業集積連携会議 常任幹事 2018 年 5 月 青森県自動車関連産業振興協議会 副会長 2018 年 5 月 あおもり ICT 利活用推進プラン検討委員会 副委員長	
地域情報化の 専門分野・技術	専門分野は、地方都市における IoT 技術を活用した地域活性化・観光促進。 専門技術は、IoT 通信技術、センサーネットワーク技術、高精度位置測位技術、音声認識技術、画像認識技術、ビックデータ・AI 解析 等。	
専門分野	ネットワークインフラ（Wi-Fi / LPWA / 光ネットワーク） 防災 スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ	
自治体向けメッセージ	地方都市は豊かな資源がある一方で、人口密度が薄くエリアが広大なため、二次交通のコストの高さと利便性の悪さが課題です。また、内閣府の今年の調査によれば、日本の人口が 2008 年をピークに減少する一方で、東京圏以外の地方の若者人口が過去 15 年間で 3 割も減少しており、地方消滅の危機が提唱されています。各地方では、「I ターン」「U ターン」「J ターン」施策や移住施策等にご尽力されていることと推察します。この現状に対して、私が注目するのは、安心安全・歴史・文化・食・自然の体験を求めて世界中から遠路はるばる来日し、ゴールデンルートでなく地方へ訪問するインバウンド観光客です。ここに、 地方の課題解決のチャンスがあると思います。今後も、新たな価値観を持って地域課題解決に臨み、その土地ならではの地方創生に向けてご支援できればと思います。 専門技術は、IoT 通信技術、センサーネットワーク技術、高精度位置測位技術、音声認識技術、画像認識技術、ビックデータ・AI 解析 等。	
関連サイト	http://www.forte-inc.jp	

		https://www.facebook.com/jun.key9
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	IoT 製品の先駆けとして、自転車×インターネットをテーマとしたナビガイド端末「ナビチャリ」をリリースしました。以降は、リアルタイムでの位置情報測位に特化した IoT 端末開発「FB シリーズ」、移動中に安全に音声情報を取得できる骨伝導ヘッドセット「VOICE-rable シリーズ」を研究開発しました。 ナビチャリ及び VOICE-rable シリーズは、自治体や観光事業者が抱える「コンテンツ化した観光ガイド情報の発信」等のニーズに対応できます。この製品を通じて地域情報の積極的な発信を促し、地方都市の 6 次産業化、地域内の資金循環及び地域外からの資金流入増加に貢献します。 FB シリーズは、移動体の管理等に役立つ mono 端末と高齢者や作業員の状況把握等に役立つ hito 端末があります。両製品は、位置情報をリアルタイムでサーバーに蓄積できるため、地方都市が抱える「二次交通の運行状況把握・ルート最適化による利便性向上・経費削減」「独居老人の緊急時早期対応」等のニーズに対応できます。これらの製品を通じて地域情報の地域内・地域間共有化を図り、あらゆる世代がより快適に生活できる街づくりに貢献します。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	■情報発信システム・地域ポータルサイト 2008 年 青森市地域 ICT 利活用モデル構築事業 2009 年 青森県ユビキタス情報提供モデルシステム展開・整備活用事業 八戸地域 ICT 利活用モデル構築事業 2018 年 あおもり ICT 利活用推進プラン検討委員会 2018 年 青函活性化ファンドプロジェクト （地域密着型シェアリングエコノミー基盤、多言語課題解決基盤の構築） ■移動体通信システム 2011 年 国立大学法人岩手大学と共同研究 地方独立行政法人青森県産業技術センターと共同研究 2012 年 第 9 回リエゾン-I 研究開発事業化育成資金 JST 復興促進プログラム（マッチング促進）可能性試験事業 2017 年 準天頂衛星みちびき、LPWA 等新技術を活用した IOT 端末の研究開発 ■ICT を活用した二次交通 2012 年 弘前市スマートシティ PR 共同研究事業 2017 年 鳥取県観光モビリティ研究会 参画 2017 年 鳥取県のジオコムス実証実験プロジェクト 参画 http://db.pref.tottori.jp/pressrelease.nsf/0/EBBEA6BCD87FBE76492581860004811F?OpenDocument 2018 年 青函活性化プロジェクト（Smart Access Vehicle による二次交通課題解決） 2018 年 サイクルツーリズム促進プロジェクト。大会運営支援システムの研究開発